

平成23年11月分 高知県の電力需要について

需要の概要

平成23年11月の販売電力量は、3億2千8百万kWh、対前年比95.1%となった。

需要実績

		高 知 県				全 社 計			
		当 月		累 計		当 月		累 計	
		電力量	前年比	電力量	前年比	電力量	前年比	電力量	前年比
特定規模需要 以外の需要	電 灯	125	94.9	1,148	95.7	657	93.8	5,969	95.0
	電 力	25	93.6	248	94.1	115	93.7	1,184	93.1
	計	150	94.7	1,396	95.4	772	93.8	7,153	94.7
特定規模需要 (自由化対象)	業務用電力	85	98.6	808	95.5	452	97.5	4,248	95.5
	産業用電力	93	92.6	798	95.6	873	103.5	7,111	100.5
	(再掲)大口電力	(62)	(87.8)	(529)	(93.8)	(695)	(104.1)	(5,578)	(101.1)
	特定規模計	178	95.4	1,606	95.5	1,325	101.4	11,359	98.6
販売電力量 計		328	95.1	3,002	95.5	2,097	98.5	18,512	97.0

大口電力の産業別内訳

	当 月		累 計	
	電力量	前年比	電力量	前年比
機 械	25.5	82.4	215.4	85.8
化 学	9.9	96.2	80.0	103.7
紙・パルプ	8.6	79.2	87.0	94.9
鉱 業	3.3	100.3	25.0	100.3
織 維	1.0	70.6	11.3	103.4
鉄 鋼	3.3	111.3	26.4	115.5
その他	9.9	96.5	84.4	98.2
計	61.5	87.8	529.5	93.8

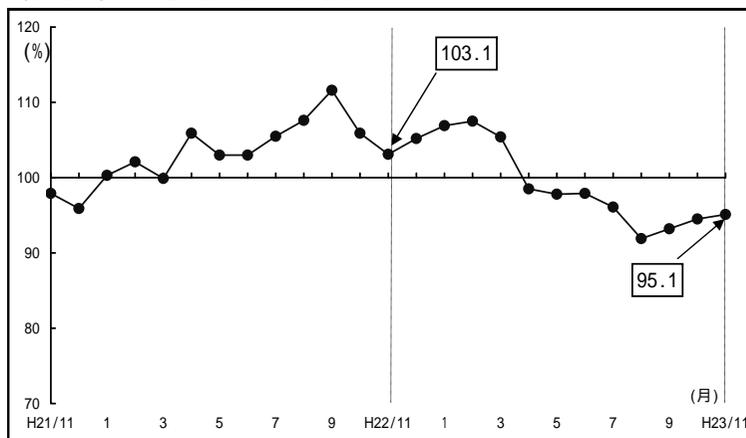
【需要の内訳】

家庭用などの「電灯」は、11月上、中旬の気温が前年に比べ高めに推移し、暖房需要が減少したことに加え、東日本大震災以降の節電意識の高まりなどから、対前年比94.9%となった。

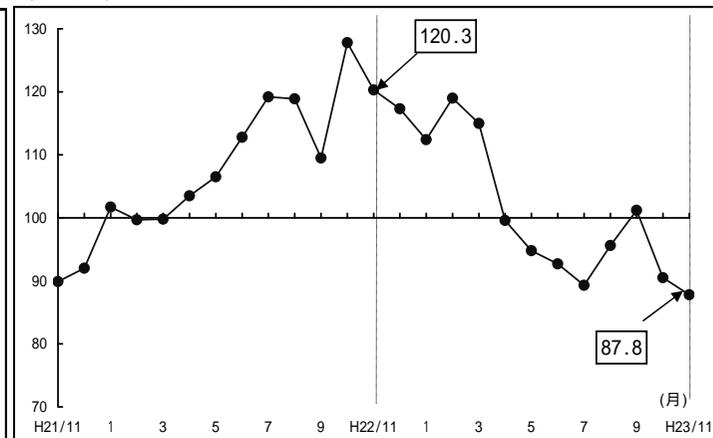
事務所ビル・大型商店などの「業務用」については、「電灯」と同様の気温要因や節電の影響などから、対前年比98.6%となった。

産業用の「大口電力」は、販売電力量のウェイトの高い、機械、化学、紙・パルプなどで前年を下回ったことから、対前年比87.8%となった。

(参考1) 販売電力量の前年比の推移



(参考2) 大口電力の前年比の推移



【参 考】

- 販売電力量は、平成23年4月以降、対前年比8ヵ月連続でマイナス(参考1)
- 大口電力は、平成23年10月以降、対前年比2ヵ月連続でマイナス(参考2)

(参考3) 高知市内の平均気温

	10 月				11 月			
	上旬	中旬	下旬	平均	上旬	中旬	下旬	平均
実 績	20.6	20.5	19.2	20.1	19.2	16.9	12.0	16.0
平年差	0.7	0.8	2.0	0.8	3.4	3.1	0.2	2.2
前年差	1.3	0.8	0.2	0.6	4.9	3.3	0.5	2.5